

2021年度通常総会を開催 (2/20)

-----コロナ禍で70周年記念事業は秋以降に-----

新役員体制を選出、近藤 強さんが理事長に



総会は2月20日(土)午後1時半から高知県自治労働会館3階会議室で開催され、会員総数92名中65名(出席26・委任状8・書面決議書31)が出席しました。

まず、議長選出までの司会・進行役の中谷 俊副会長が開会挨拶を行い、主催者を代表して岡林俊司会長が

“2020年はコロナに始まりコロナで終わった、ほとんどの活動が出来なかったが中国留学生への生活支援活動など新たな取り組みと若者の行動参加も生まれた、これを今後の活動に生かしていきたい”と挨拶しました。その後、高知地区中国人留学生学友会の郭玉奇会長(高知大学)が今年の“武漢頑張れのカンパ活動・年末の生活支援(59名の留学生に3,000円の商品券提供)などへの御礼と来年こそ春節を祝う会が開催され日中友好に取り組んでいきたい”と述べました。そして、中谷 元・広田 一・武内則男の各衆議院議員からの祝電が披露されました。

議事に入り、近藤 強副理事長を議長に選出するとともに、書記に梅本美智さん、議事録署名人に新土居正志・安岡土佐夫さんを議長が指名しました。

第1号議案の2020年度の活動報告、第2号議案の2020年度会計報告・監査報告、第3号議案の2021年度活動方針案、第4号議案の2021年度予算案、第5号議案の役員改選案の全議案を原案どおり承認・可決しました。とくに役員改選については、ほとんどの役員が再任されましたが、理事長には病気療養中の浜田嘉彦理事長に代わって近藤 強副理事長を選出しました(浜田氏は顧問に)。この結果2021・2022年度の役員体制は顧問8名、名誉会長1名、会長1名、副会長8名、理事長1名、理事23名、監事2名の体制となりました。(別表参照)

そして、理事の互選となる副理事長、常任理



岡林会長から藤原充子顧問に感謝状を贈る

事、事務局長、事務局次長については今後の理事会で決定していくことになります。なお、長年頑張ってこられた矢野恵子・河本 海理事が退任しました。また、顧問に新たに武内則男衆議院議員を委嘱しました。

議案採決の後、当協会の厳しい財政状況から多額の寄付をされた藤原充子顧問・植野克彦副会長。田村信雄理事・矢野恵子前理事など4氏への感謝状を贈呈しました。

今年の特徴的な取り組みとしては、コロナ禍が収束すれば「春節を祝う会」に代わる行事の開催、「70周年記念事業」の秋以降の取り組み、2012年から当協会が高知市と委託契約を交わしていた「中国残留邦人等地域生活支援事業」を帰国者主体の組織へ変更する提案などです。

そして、意見として、“春節を祝う会が中止となり事業収益が見込めなく財政が持たないのでは”、“新たな収益事業を創出すべき”、“会員増の取り組みを積極的に行うべき”、“定款変更・役員登記などの事務作業の遅れもあり事務局体制の早期の確立を”などが出されました。

2021・2022年度役員					
役職名	氏名		役職名	氏名	
顧問	中谷 元		理事	森 恒一郎	
〃	広田 一		〃	宮本 博行	
〃	濱田 省司		〃	田中 一孝	
〃	岡崎 誠也		〃	中野 ミツヨ	
〃	藤原 充子		〃	王 整 斌	
〃	川野 和子		〃	井上 健	
〃	武内 則男		新	〃	
〃	浜田 嘉彦		新	〃	
			〃	伴 武 澄	
名誉会長	鈴木 康夫		〃	前西 繁成	
			〃	山田 健一	
会長(理事)	岡林 俊司		〃	中村 博孝	
			〃	大石 宗	
副会長(理事)	植野 克彦		〃	入江 康平	
〃	中谷 俊		〃	梅本 治	
〃	坂本 茂雄		〃	西岡 史雄	
〃	和田 雄一		〃	野村 佳代	
〃	大野 祥雲				
〃	安岡 豊実				
〃	溝渕 勝				
〃	折田 晃一				
理事長(理事)	近藤 強		新		
理事	田村 信雄				
〃	大久保 昭彦				
〃	近藤 浩一				
〃	竹内 昭卿				
〃	安岡 土佐夫		監事	竹森 勇喜	
〃	植田 英久		〃	清家 晴男	

ネパール人留学生ケサブ君への支援カンパ10万円を贈る

会報 68号 (2021・2・10) で報道したがん治療で闘病しているケサブ君への支援カンパについて、2月26日(金)に岡林会長が国際デザイン・ビューティーカレッジを訪れ、この間集めたカンパ金額10万円(個人・団体から約50人分)を「がんばれケサブ応援団」のキエル・イエヘスキエル団長に手渡しました(寄付者からの漫画本(英文)も渡す)。

同席していた永橋正至校長と担当の福島事務局員からも“多額の寄付を有難い、皆様にもよろしくお伝えください”と挨拶がありました。

なお、ケサブ君の容態も不安定で心配しているとのことで一日も早い回復を願っています。カンパに応じていただいた皆様にあらためて御礼を申し上げます。

※カンパ額は現在（4/2）6,182,162 円になっています。

イエヘスキエル応援団長にカンパを渡す。→
右端は永橋校長。



中国留学生に蜜柑（文旦・八朔）を配りました！

2月14日（日）に会員の所有する蜜柑園（仁淀川町森地区）で“文旦”約400個を収穫しました。参加者は今年新たに設置された高知地区中国人留学生学友会（これまでの高知大学中国人留学生学友会と高知県立大学の留学生が統合した組織）の会長の郭王奇さん、実行委員の黄炳南君、尹曉軒君、県日中の田村信雄理事の4名で、晴天のもと“おいしい空気”を吸いながら収穫に汗を流しました。

その後、会員の松岡由紀彦さんより提供された“八朔”約150個、合計550個を選別し、370個を3月13日（土）に尹君、黄君、田村の3名で高知工科大、高知大農学部（南国市・物部）、高知県立大、高知大朝倉キャンパスへ配達し、希望者に配ってもらうよう各大学の留学生学友会の役員に依頼しました。

一連の行動を通じて留学生学友会役員との交流も深まりました。また、5月末には昨年と同じく仁淀川町での“小夏狩り”も予定しており留学生・学生より“ぜひ参加したい”の声が寄せられています。お楽しみに！（田村記）

「まいどお騒がせいたします・土佐、ちりがみ交換一代記」を読んで――

日中友好が空海さんのお力によりもっと確かに進むことを願う！

先日、理事の田村信雄氏と友人の大前田商店社長の前田薫氏を訪ねた。前田氏は昨年9月に「毎度お騒がせいたします--土佐、ちりがみ交換一代記--」を出版していた。さっそく読んでみたらとても面白く、バイタリティとアイデアにあふれた前田さんらしい体験が、土佐弁丸出しで語られていた。インタビューと聞き書き人は高知新聞元社会部長・依光隆明氏だった。白バイ激突事件で社を追われた方で、私が身近で最も尊敬する新聞記者です。

この本の中で私が心を動かされたことは、本の帯にも書かれていた金比羅さんの神様についての不思議な体験です。「命がけで働く。成功させてほしい」と願掛けしたのに仕事に行きづまって



死を考えている時に、白いひげの老人が「こら、カオル。おまえはたったそれだけの男か」と言って消えたという。貧乏のどん底から歯をくいしばって事業を成功させた彼の自伝は、きっと中国の国民にも受けるのではないかと思い田村理事を誘って彼のタナスカの事務所を訪ねたのです。中国は共産主義国家とはいえ、仏教はもちろん仙人になるための修行「仙道」も許されており、テレビで修行中の若者たちを見たことがあります。

中国人の心の底流を流れている宗教心は意外にも神道ではないだろうか。そう言えば共産中国初の宇宙船の名前が「神舟1号」だったし、日中合作の「KŪKAI」の中で若き僧・空海は「道士」と呼ばれていた。空海さんのご縁で入ったNPO高知県日中友好協会。日中友好が空海さんのお力によりもっと確かに進むことを心から願っています。

会員・松岡由紀彦

第2回理事会報告（概要）

日時:2021年3月27日（土）10:00～12:00

場所:はりまや町・ウオーターベース

出席者 32名（委任状提出者 19名含む）

1、経過報告

- (1) NPO高知県日中友好協会 2021年度通常総会
- (2) ネパール人留学生ケサブ君への支援カンパ
- (3) (公社) 日中友好協会第39回定例理事会
- (4) 日中友好中国帰国者の会からの報告
- (5) 中国留学生への“年越し生活支援カンパ”の一部返還について
- (6) 理事会招集手続きについて

2、協議事項

- (1) 副理事長・事務局長・事務局次長・常任理事の選任について
※決定できず次回理事会へ持ち越しに。
- (2) 事務局当番体制(平日10:00～13:00)について
- (3) 財政強化に向けての事業対策の検討
- (4) 牛子華四国88カ所山水画展(6/11～27・八幡浜市美術館)の協賛について
---※県日中として一口3万円を拠出

会員募集!

NPO 高知県日中友好協会へ加入しませんか

当協会は1950年10月に発足しました。国と国のあり様がどうであれ、“民と民”の交流で日中友好をすすめていきましょう。

※会費は年間12,000円（個人 ※家族会員は4,000円）・20,000円（企業・団体）で、
(公社) 日中友好協会の会報「日本と中国」年間購読料5,000円含む。

